

2 「CAN-DOリスト」の設定と活用について

【プロトタイプ版】CAN-DOリスト資料
福島県教育庁義務教育課作成

キーワード

- ・ 「育てる」CAN-DOリスト
- ・ 小中（高）連携

1. CAN-DOリストとは

CEFR

世界中で、学習者の言語運用能力を客観的に評価するために使われているCEFR（ヨーロッパ共通参照枠）は、難易度・熟達度をA1、A2、B1、B2、C1、C2の6段階に分けられ、各能力レベル別に「何ができるか」を解説<https://www.coe.int/en/web/common-european-framework-reference-languages/level-descriptions>



日本版→CEFR-J

CEFR-Jは欧州共通言語参照枠（CEFR）をベースに、日本の英語教育での利用を目的に構築された、新しい英語能力の到達度指標

CEFR-Jの指標は、「言葉を使って何ができるか」ということを文章で明示するcan doという能力記述子（descriptor：デスクリプタ）を用いて記述

<http://www.cefr-j.org/>

1. CAN-DOリストとは

CAN-DOリストの原点 CEFR

CEFR とは (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment : 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)

語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会が発表した。

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/_icsFiles/afieldfile/2019/01/15/1402610_1.pdf



1. CAN-DOリストとは

各資格・検定試験とCEFRとの対照表（附属資料①）

- CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment: 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)について

CEFRは、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編纂、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会が発表した。

CEFRが示している6段階の共通参照レベルの記述は次のとおり。



熟練した 言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した 言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の 言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典) ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

1. CAN-DOリストとは

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200			9.0 8.5				
C1	199 180	3299 2600	1400 1350	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160	2599 2300	1349 1190	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140	2299 1950	1189 960	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120	1949 1700	959 690		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100	1699 1400	689 270					620 320

→ は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

○ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。

※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。

※ TOEIC L&R/ TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※ 障害等のある受検生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。

第3期教育振興基本計画においては、中学校卒業段階でCEFR A1レベル相当以上を達成した中学生の割合50%、高等学校卒業段階でCEFR A2レベル相当以上を達成した高校生の割合50%を目標としています。

1. CAN-DOリストとは

CEFRのCAN-DOリストは観察可能で評価可能な言語活動を記述するために、原則として次の3要素を含むディスクリプタから成り立つ。

- ① どのようなタスクができるか
- ② どのような言語の質でできるか
- ③ どのような条件下でできるか

この3要素が具体的に示すものは、受容技能、発表技能のディスクリプタにおいて、次のようになる。（根岸，2010）

受容技能（「聞くこと」「読むこと」）

(1) task（タスク） (2) text（テキスト） (3) condition（条件）

発表技能（「やりとり」「発表」「書くこと」）

(1) performance（パフォーマンス） (2) quality（質） (3) condition（条件）

必ずしも3要素を含まなければならないというわけではない。

利用目的や対象者を明確にして作成することが重要

よいCAN-DOリストの条件

「よいCAN-DOリストの条件North（2000,p.343ff）で挙げられている点は以下である。」

- ① 肯定性（Positiveness） 「～できる」 肯定的な表現
- ② 明白性（Definiteness） 曖昧な表現をできるだけ排除
- ③ 明瞭性（Clarity） 専門用語を多用したものは避ける
- ④ 簡潔性（Brevity） 長文ではなく簡潔に
- ⑤ 独立性（Independence） Yes,Noで答えやすい短い文

【外国語】学習指導要領改訂の考え方

外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成と、学習評価の充実

外国語の背景にある文化の理解、相手への配慮を行いながら、主体的（・自律的）にコミュニケーションを図ろうとする態度

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解とそれらを実際のコミュニケーションで活用できる技能

コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて理解したり表現したり伝え合ったりすることができる力

何ができるようになるか

CAN-DOリスト...

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

「外国語を使って何ができるようになることを目指すか」という目標を学校内外と共有し、ALT等の外部人材との連携、様々な教材やICTの効果的な活用を図りながら、外国語の教育課程を編成、実施し、学習評価を踏まえた改善を行っていくこと

何を学ぶか

学校段階間の円滑な接続と児童生徒の課題を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

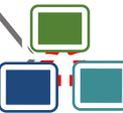
- 小・中・高等学校を通じた5つの領域別の目標を設定（「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り・発表]」「書くこと」）
- 小学校中学年における外国語活動の新設、高学年の教科化
- 高校の科目構成：統合的な言語活動を通して5領域を総合的に扱う科目群（英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ）と、ディベートやディスカッション等を通して発信力を高める科目群（論理・表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を設定

どのように学ぶか

五つの領域別の言語活動及び統合的な言語活動を通じた指導を行う

- 具体的な課題等を設定し、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、語彙や表現等の知識を五つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図る【深い学び】
- 授業は英語で行い（中・高）、授業を実際のコミュニケーションの場面とする
- 文法の用語や用法の説明に偏らず、言語活動と効果的に関連付けて指導

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



1. CAN-DOリストとは

CEFR のCAN-DOリストと学習指導要領の関係

「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」（平成23年7月13日）文部科学省
提言1. 生徒の求められる英語力について、その達成状況を把握・検証する
「中学校・高等学校は、学習到達目標をCAN-DOリストの形で設定・公表するとともに、その達成状況を把握する」



「各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定のための手引き」
（平成25年3月）文部科学省



学習指導要領の「目標」にCAN-DO的な記述
教科としての「外国語」では「～できるようにする」という表現
→教師の視点で書かれている。

「CEFRは日本の学習指導要領の改定にも影響を与えたと言える。まず、学習指導要領の目標は、CEFRにならって5領域で記述され、「～できるようにする」というCAN-DOディスクリプタを意識した形式で書かれている。」 投野由紀夫・根岸雅史(2020).『教材・テスト作成のためのCEFR-Jリソースブック』.大修館書店

1. CAN-DOリストとは

自分は（その言語を使って）
何ができるのか
を認識すること



自分は「英語で」
何ができるようになったのか
を認識すること



「何ができるようになるのか」を整理し、明確にする



CAN-DOリスト

2. CAN-DOリスト作成の目的

各中・高等学校の外国語教育における
「CAN-DO リスト」の形での
学習到達目標設定のための手引き

平成25年3月

文部科学省初等中等教育局

本手引きは、旧学習指導要領をもとに作成されていますが、内容は、現行学習指導要領の内容と合致する部分が多くあります。

これ以降、CAN-DOリストに係る「手引き」等は文部科学省から出ておりませんので、現段階では、これが「拠り所」になります。

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/__icsFiles/afieldfile/2013/05/08/1332306_4.pdf

2. CAN-DOリスト作成の目的

各中・高等学校の外国語教育における
「CAN-DO リスト」の形での
学習到達目標設定のための手引き

平成25年3月

文部科学省初等中等教育局

学習指導要領に基づき、

生徒が身に付ける能力を各学校が明確化し、

主に**教員が生徒の指導と評価の改善に活用**

すること。

3. 作成について

2 〈卒業時の学習到達目標設定〉※

- ・生徒の学習の状況や地域の実態等を踏まえた上で、卒業時の学習到達目標を、言語を用いて「～することができる」という形で設定。（その際、学習指導要領上の目標等に基づくことが必要。）

3 〈学年ごとの学習到達目標の設定及び年間指導計画と単元計画への反映〉※ (16～22 ページ参照)

〈学年ごとの学習到達目標設定〉

- ・卒業時の学習到達目標を達成するための学年ごとの目標を、「CAN-DO リスト」の形で設定。（必要に応じて、学習指導要領や既存の取組を参照。）

〈年間の指導と評価の計画への反映〉

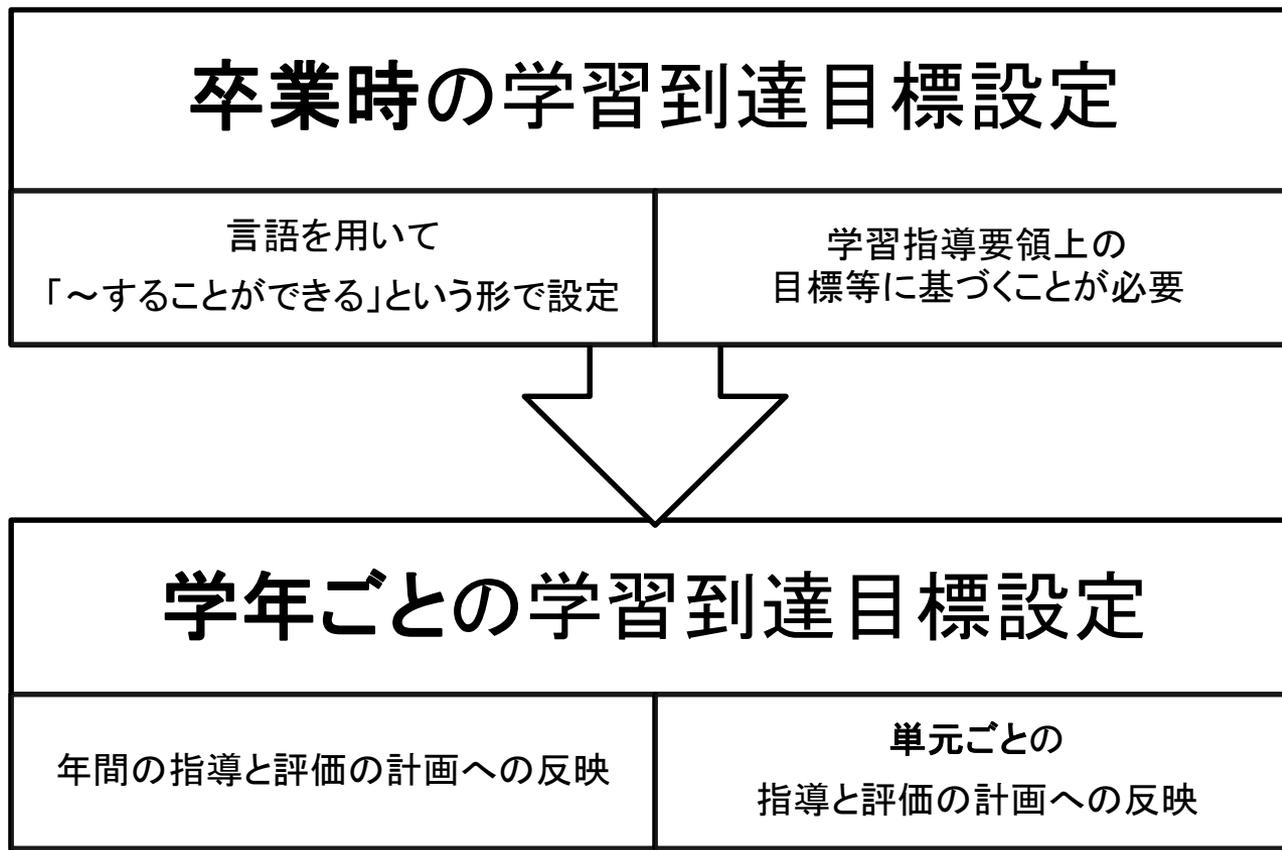
- ・「CAN-DO リスト」の形で設定した学年ごとの学習到達目標を年間指導計画等に位置づけ。各単元における目標、主な学習活動、評価方法を計画

〈単元ごとの指導と評価の計画への反映〉

- ・各学校で実際に行われる学習活動を基に、各単元の目標及び評価規準を設定。
- ・教科書を中心に、単元の目標を達成するのに適した教材を活用した各時の学習指導を計画。
- ・目標の達成状況を把握するための具体的な評価を計画し、単元計画に位置づける。

※ 2及び3が相互に対応したものとなるよう調整

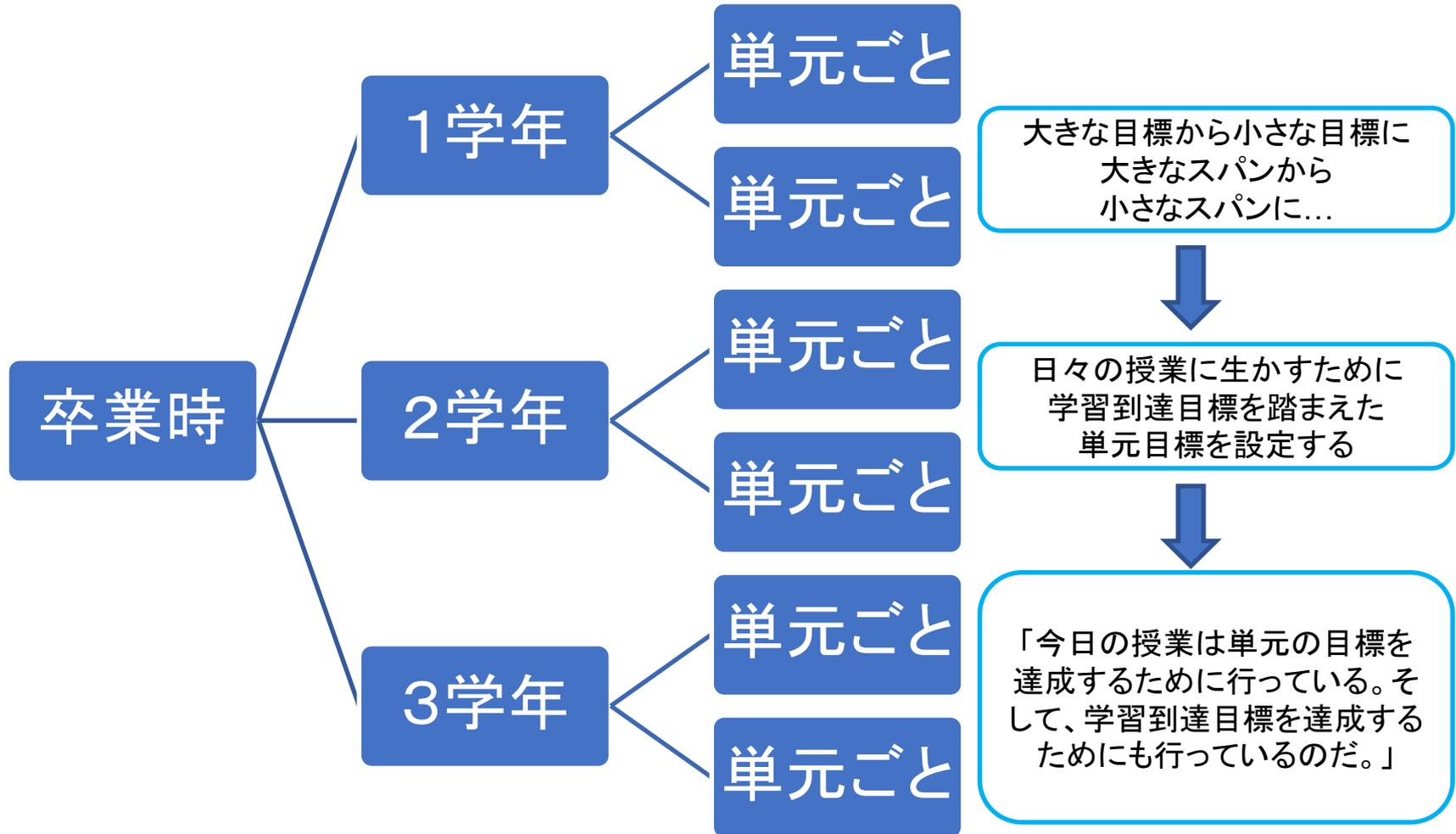
3. 作成について



学習指導要領に基づいて設定

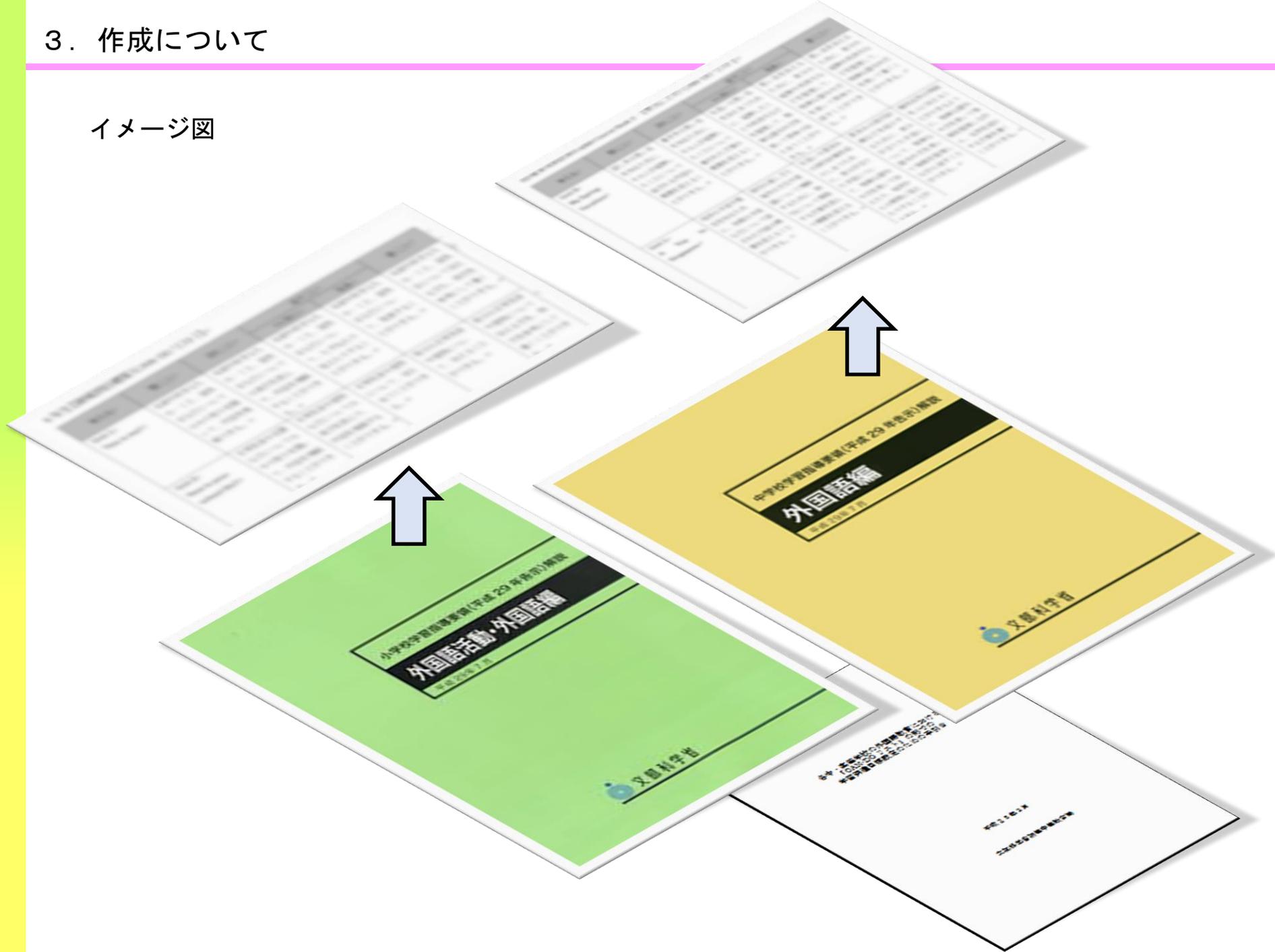
3. 作成について

学習到達目標の設定



3. 作成について

イメージ図



4. 活用について

CAN-DOリストの形で学習到達目標を設定する目的は？

- 外国語能力向上のために、生徒が身に付ける能力を各学校が明確化し、教員が生徒の指導と評価の改善に活用すること。
- 学習到達目標を、言語を用いて「～することができる」という能力記述文の形で設定することにより、学習指導要領を踏まえた、4技能を有機的に結び付け、総合的に育成する指導につなげること。
- 教員と生徒が外国語学習の目標を共有することである。生徒自身にも、言語を用いて、「～ができるようになりたい」、「～ができるようになることを目指す」といった自覚が芽生え、言語習得に必要な自律的学習者としての態度・姿勢が身に付くとともに、「言語を用いて～ができるようになった」という達成感による学習意欲の更なる向上にもつながることが期待される。

文部科学省 「各中・高等学校の外国語教育における『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標設定のための手引き」から抜粋

CAN-DOリストの
意義

「グローバル社会における
生涯にわたる自律的英語学習者の育成」

人生100年時代

令和3年度英語指導力向上事業第1回運営指導委員会 福島大学 佐久間康之 教授

4. 活用について

CAN-DOリストの形で学習到達目標を設定する効果は？

- 実際の言語使用場面で言語を使って何ができるかということを見通した指導と評価を行うことができるようになる。
- 教員と生徒が外国語学習の目標を共有することである。生徒自身にも、言語を用いて、「～ができるようになりたい」、「～ができるようになることを目指す」といった自覚が芽生え、言語習得に必要な自律的学習者としての態度・姿勢が身に付くとともに、「言語を用いて～ができるようになった」という達成感による学習意欲の更なる向上にもつながることが期待される。

文部科学省 「各中・高等学校の外国語教育における『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標設定のための手引き」から抜粋

CAN-DOリストの
意義

「グローバル社会における
生涯にわたる自律的英語学習者の育成」

人生100年時代

令和3年度英語指導力向上事業第1回運営指導委員会 福島大学 佐久間康之 教授

4. 活用について

CAN-DOリストの形で学習到達目標を設定する効果は？ 中学校学習指導要領 外国語 解説 (p84)

今回の改訂では、外国語科の目標について、育成を目指す資質・能力を明確にした上で、各学校段階の学びを持続させるとともに、「外国語を使って何ができるようになるか」という観点から改善・充実を図っており、小・中・高等学校で一貫した目標を実現するため、そこに至る段階を示すものとして五つの領域別の目標を設定している。

学年ごとの目標を、学習指導要領を踏まえて各学校が設定する「学習到達目標」として生徒に求められる英語力を達成するための具体的な形で設定する取組は、既に各学校で行われているが、上記のとおり、今回の改訂で領域別の目標が明確に示されたことにより、その目標と関連付けられた学習到達目標とする必要がある。このように学習指導要領が示す目標に基づいて各学校が学習到達目標を定めることには、次のような効果があると考えられる。

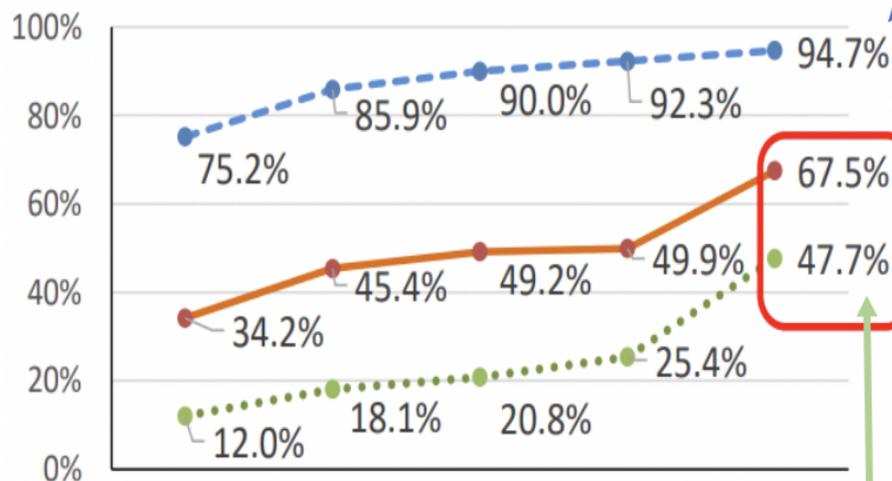
- ・ 生徒にどのような英語力が身に付くか、英語を用いて何ができるようになるのか、あらかじめ明らかにすることができ、そうした情報を生徒や保護者と共有することで授業のねらいが明確になるとともに、生徒への適切な指導を行うことができる。
- ・ 「知識及び技能」の習得にとどまらず、それを活用してコミュニケーションが図れるよう、五つの領域にわたる総合的な資質・能力の育成を重視することが期待される。
- ・ 校内でも教師によって指導方法が大きく異なることがある中で、教師間で指導に当たった共通理解を図り、均質的な指導を行うことができる。
- ・ 面接・スピーチ・エッセイ等のパフォーマンス評価などにより、「言語を用いて何ができるか」という観点から評価がなされることが期待され、更なる指導と評価の一体化とその改善につなげることができる。

4. 活用について

CAN-DOリスト形式による学習到達目標の設定、把握、公表

外国語科の目標を各領域（聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くこと）ごとに「何ができるようになるか」という観点で設定していることを踏まえ、CAN-DOリスト形式による学習到達目標の設定と学習評価への活用等をより一層普及する必要がある。

【中学校】



【設定】

- 設定することが目的となっていないか
- 生徒の実態に即したものが
- 不断の見直しを（英語科全員で）

【把握】

- 「指導と評価の一体化」の観点から、パフォーマンステストや定期テスト等で評価することでの達成状況の把握

—●— 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学校の割合

—●— 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している学校の割合

...●... 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学校の割合

【公表】

- 生徒へ
 - ゴールへの見通し（単元の導入時等で）を持たせるために生徒との共有
 - 中間指導の場面での確認（言語活動が目標に合っているか）
 - 振り返る視点（内容面、言語面）としての確認
- 保護者や地域へ
 - 学校HP等を活用して、保護者等への発信

「見通しを持たせないのは、児童生徒を目的地のないバスに乗せているのと同じ」

CAN-DO リストは...

- ✓ 児童生徒が全員達成できる学習目標
- ✓ 児童生徒が「これって、あの活動のことかな...」
とイメージ化しやすいもの

「作って終わり」ではなく
「使って育てる」もの

目指すものは...

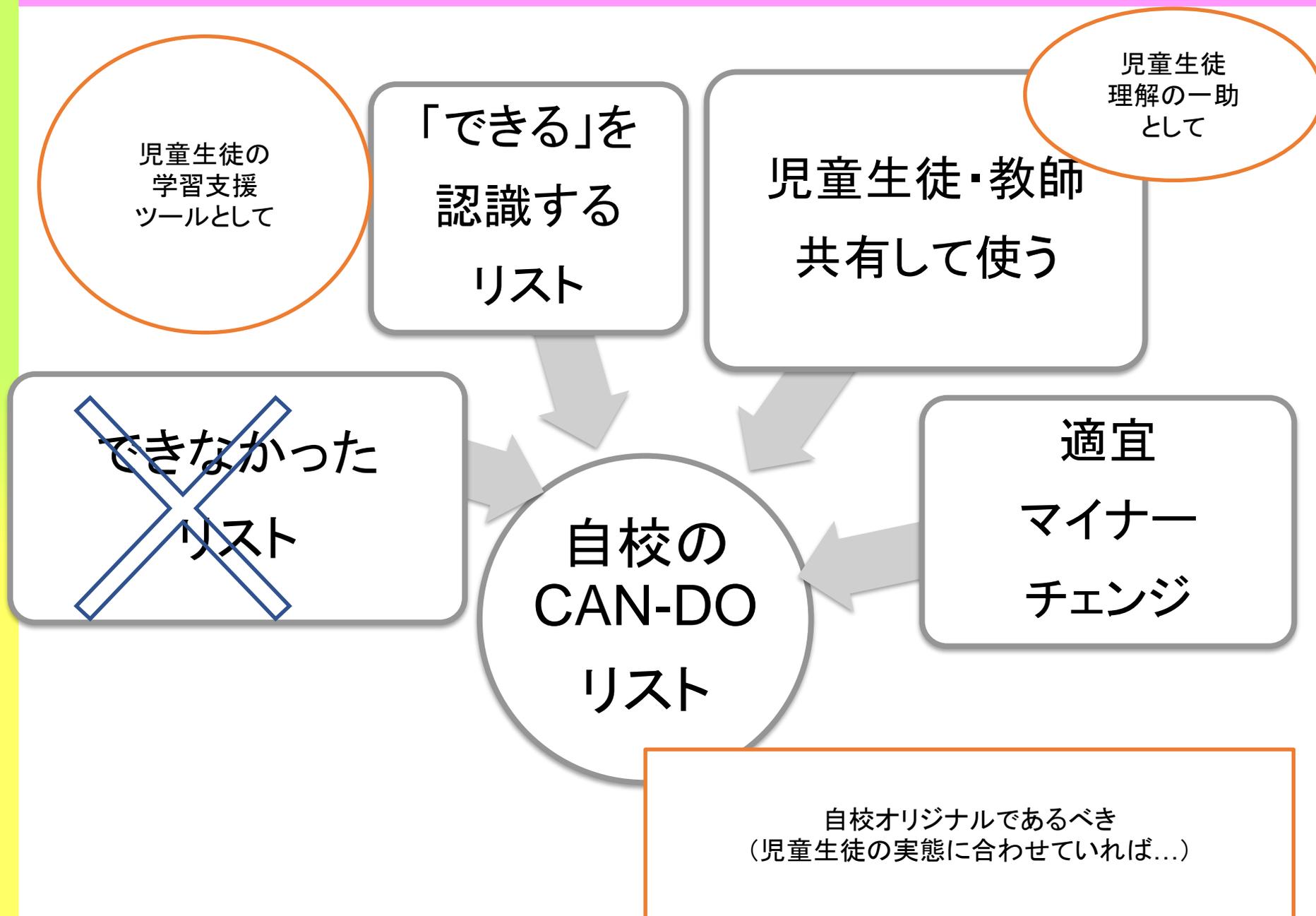
児童生徒が
使える
CAN-DO
リスト

児童生徒と
教師が共有で
使える
CAN-DO
リスト

教師が
使える
CAN-DO
リスト

Students First

4. 活用について



作成手順→学習指導要領に則して

中学校学習指導要領 英語 目標

英語

1 目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと

ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。

イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。

ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。

目標のア、イ、ウを読んでもみると、アからウにかけて高度化しています。これを、「仮に」1年、2年、3年の目標として設定してみます。

【注意：外国語の学習指導要領は、他の教科と違い学年ごとの区切りがありません。3年間（小学校は2年間）をかけて、達成するものという位置づけです。アが1年生、イが2年生として設定すべきという規定や決まりはありません。そのため、ここでは、「仮に」としています。】

仮に

アを1年

イを2年

ウを3年

4. 活用について

学習指導要領 中学校 外国語 英語 目標 構造分解と小中高のつなぎイメージ (仮)

→学習指導要領でつなげば、小中連携した学校のCAN-DOリストの素案になり得る

		↓学年ごとの目標を仮に設定					
うちに来た子たちは学習指導要領のA、イ、ウのどれとつなげたらいいかな。小学校の先生から聞いている情報だと...						うちに来た子たちは学習指導要領のA、イ、ウのどれとつなげたらいいかな。様子を見る限りでは...	
	小学校卒業段階	1学年	2学年	3学年	高校1年当初	高校1年	
学習指導要領目標 (仮)	小ウ → 小ウつなぎ → 中ア	中ア	中イ	中ウ	中ア?イ?ウ?のどれ	高ア	
聞くこと	条件	はっきりと話されれば	はっきりと話されれば	はっきりと話されれば	はっきりと話されれば	中高つなぎ	
	話題	日常生活に関する身近で簡単な事柄について	日常的な話題について	日常的な話題について	社会的な話題について		
	内容	短い話の概要を	必要な情報を	話の概要を	短い説明の要点を		
	目標とする姿	捉えることができるようになる。	聞き取ることができるようにする。	捉えることができるようにする。	捉えることができるようにする。		

目標の構造を分解してみると、具体的にどんな条件で、どんな話題で、何をできるようにするのかを段階を追って理解することができます。

4. 活用について

うちに来た子たちは学習指導要領の、ア、イ、ウのどれとつなげたいかな。小学校の先生から聞いている情報だ...

うちに来た子たちは学習指導要領の、ア、イ、ウのどれとつなげたいかな。様子を見る限りでは...

	小学校卒業段階	1 学年	2 学年	3 学年	高校 1 年当初	高校 1 年
聞くこと	学習指導要領目標 (仮)	小ウ → 小中高つなぎ → 中ア	中イ	中ウ	中ア?イ?ウ?のどれ → 中高つなぎ	高ア
	条件	ゆっくりはっきり話されれば、	はっきりと話されれば	はっきりと話されれば	はっきりと話されれば	
	話題	日常生活に関する身近で簡単な事柄について	日常的な話題について、	日常的な話題について	社会的な話題について	
	内容	短い話の概要を	必要な情報を	話の概要を	短い説明の要点を	
	目標とする姿	捉えることができるようになる。	聞き取ることができるようにする。	捉えることができるようにする。	捉えることができるようにする。	
読むこと	学習指導要領目標 (仮)	小イ → 小中高つなぎ → 中ア	中イ	中ウ	中ア?イ?ウ?のどれ → 中高つなぎ	高ア
	話題		日常的な話題について	日常的な話題について	社会的な話題について	
	素材	音声で十分に慣れ親しんだ	簡単な語句や文で書かれたものから	簡単な語句や文で書かれた	簡単な語句や文で書かれた	
	内容	簡単な語句や基本的な表現の意味が	必要な情報を	短い文章の概要を	短い文章の要点を	
	目標とする姿	分かるようにする	読み取ることができるようにする。	捉えることができるようにする。	捉えることができるようにする。	
話すこと [やり取り]	学習指導要領目標 (仮)	小ウ → 小中高つなぎ → 中ア	中イ	中ウ	中ア?イ?ウ?のどれ → 中高つなぎ	高ア
	話題	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、	関心のある事柄について	日常的な話題について	社会的な話題に関して	
	話題補足				聞いたたり読んだりしたことについて	
	手だて	簡単な語句や基本的な表現を用いて	簡単な語句や文を用いて	簡単な語句や文を用いて	簡単な語句や文を用いて	
	目標とする姿	その場で質問をした、質問に答えたりして、伝えたいことができるようにする。	即興で伝え合うことができるようにする。	伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。	述べ合うことができるようにする。	

同じように、他の領域でも、目標を設定し、構造を分解して当てはめていきます。

4. 活用について 小中高連携したCAN-DOリスト

学習指導要領 中学校 外国語 英語 目標 構造分解と小中高のつなぎイメージ (仮)

→学習指導要領でつなげば、小中高連携した学校のCAN-DOリストの素案になり得る

福島県教育庁
義務教育課 作成
令和4年2月

うちに来た子たちは学習指導要領のア、イ、ウのどれとつなげたらいいかな。小学校の先生から聞いている情報だと...

うちに来た子たちは学習指導要領のア、イ、ウのどれとつなげたらいいかな。様子を見る限りでは...

	小学校卒業段階	1学年	2学年	3学年	高校1年当初	高校1年
学習指導要領目標 (仮)	小ウ	小中つなぎ → 中ア	中イ	中ウ	中ア?イ?ウ?のどれ → 中高つなぎ	高ア
条件	ゆっくりはっきりと話されれば、	はっきりと話されれば	はっきりと話されれば	はっきりと話されれば		
話題	日常生活に関する身近で簡単な事柄について	日常的な話題について、	日常的な話題について	社会的な話題について		
内容	短い話の概要を	必要な情報を	話の概要を	短い説明の要点を		
目標とする姿	捉えることができるようになる	聞き取ることができるようになる	捉えることができるようになる	捉えることができるようになる		
	小学校卒業段階	1学年	2学年	3学年	高校1年当初	高校1年

聞くこと

学習指導要領の英語の目標のア、イ、ウでつないでいきます。
学習指導要領が有効な期間(約10年)はこの「つなぎ」の作業で連携が可能になります。

4. 活用について 小中高連携したCAN-DOリスト

うちに来た子たちは学習指導要領のア、イ、ウのどれとつなげたらいいかな。小学校の先生から聞いている情報だと...

	小学校卒業段階	1学年
学習指導要領 目標	小ウ	中ア
	りはっきりと話し	はっきりと話されれば

小中つなぎ

これが、連携のために重要な部分です。

そのためにも、小学校の先生は中学校の学習指導要領や使用している教科書を、中学校の先生は小学校、(高校)の学習指導要領や使用している教科書を読むことが小中高の系統性を意識した指導に生かすことができます。

目標とする姿	捉えることができるようになる。	聞き取ることができるようにす。
--------	-----------------	-----------------

4. 活用について

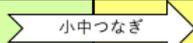
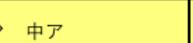
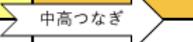
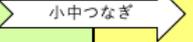
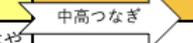
東京書籍 NEW HORIZON Elementary (小6) NEW HORIZON (中1～3)

学年ごとの目標 (CAN-DOリスト) との照合 (案)

福島県教育庁
義務教育課 作成
令和4年2月

うちに来た子たちは学習指導要領のア、イ、ウのどれとつなげたいかな。小学校の先生から聞いている情報だと...

うちに来た子たちは学習指導要領のア、イ、ウのどれとつなげたいかな。様子を見る限りでは...

	小学校卒業段階	1 学年	2 学年	3 学年	高校 1 年当初	高校 1 年
聞くこと	学習指導要領 目標 (仮) 小ウ  小中つなぎ  中ア	中ア	中イ	中ウ	中ア?イ?ウ?のどれ  中高つなぎ	高ア
条件		はっきりと話されれば	はっきりと話されれば	はっきりと話されれば		
話題	世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちについて伝え合うやり取りを聞いて、	好きなことや身近な人、体験したことなどの短いスピーチなどを聞いて	クラスメートの予定や将来の夢、クラスで人気のあるもの、町のおすすめの場所などについての短いスピーチなどを聞いて	クラスメートの経験など自分になじみのない話や海外の文化などの紹介、社会的な話題についての短いニュースなどを聞いたり、ディスカッションやディベートなどにおいて、		
内容	内容を	主な内容を	主な情報や大まかな内容を	必要な情報や概要、要点を		
目標とする姿	理解することができる。	聞き取ることができる。	とらえることができる。	とらえることができる。		
読むこと	学習指導要領 目標 (仮) 小イ  小中つなぎ  中ア	中ア	中イ	中ウ	中ア?イ?ウ?のどれ  中高つなぎ	高ア
話題	世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちについて、	自己紹介ポスターや人物の紹介文、物語や体験談などについて	クラスメートの予定や将来の夢、ポスターや物語、町紹介や説明文などについて	クラスメートの経験や、日本や海外の文化、社会的な話題などについて		
素材	簡単な語句や基本的な表現で書かれた英文を読んで、	簡単な語句や文で書かれたものから	簡単な語句や文で書かれたまじりのある文章の	自分の感想や意見などを書いたものや、図表などについて		
内容	内容を	必要な情報を	主な情報や大まかな内容を	内容を整理し、ある文章の		
目標とする姿	理解することができる。	読み取ることができる	とらえることができる。	とらえるこ		

教科書会社のHP等から使用教科書のCAN-DOリストを参照し、当てはめてみます。照合して、学習指導要領と合致するか確認をします。

4. 活用について

東京書籍 NEW HORIZON Elementary (小6) NEW HORIZON (中1～3)

学年ごとの目標 (CAN-DOリスト) との照合 (案)

福島県教育庁
義務教育課 作成
令和4年2月

うちに来た子たちは学習指導要領のア、イ、ウのどれとつなげたいかな。小学校の先生から聞いている情報だと...

①照合した際に、学習指導要領と合致するか確認する

うちに来た子たちは学習指導要領のア、イ、ウのどれとつなげたいかな。様子を見る限りでは...

	小学校卒業段階	1学年	2学年	3学年	高校1年当初	高校1年
学習指導要領 目標 (仮)	小ウ	中ア	中イ	中ウ	中ア?イ?ウ?のどれ	高ア
条件		はつきりと話されれば	はつきりと話されれば	はつきりと話されれば	中高つなぎ	
聞くこと	世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちについて伝え合うやり取りを聞いて、	好きなことや身近な人、体験したことなどの短いスピーチなどを聞いて	クラスメートの予定や将来の夢、クラスで人気のあるもの、町のおすすめの場所などについての短いスピーチなどを聞いて	クラスメートの経験など自分になじみのない話や海外の文化などの紹介、社会的な話題についての短いニュースなどを聞いた後、ディスカッションやディベートなどにおいて、	②(①で確認後)このままだと教科書会社のCAN-DOリストのままになってしまうので、自校版にアレンジ →実際の授業場面や児童生徒を思い浮かべて...	
内容	内容を	主な内容を	主な情報や大まかな内容を	必要な情報や概要、要点を		
目標とする姿	理解することができる。	聞き取ることができる。	とらえることができる。	とらえることができる。		
	小学校卒業段階	1学年	2学年	3学年	中ア?イ?ウ?のどれ	高ア
学習指導要領 目標 (仮)	小イ	中ア	中イ	中ウ	中高つなぎ	
読むこと	世界の国や人々とのつながりの中に生きる自分たちについて、	自己紹介ポスターや人物の紹介文、物語や体験談などについて	クラスメートの予定や将来の夢、ポスターや物語、町紹介や説明文などについて	クラスメートの経験や、日本や海外の文化、社会的な話題などについて		
素材	簡単な語句や基本的な表現で書かれた英文を読んで、	簡単な語句や文で書かれたものから	簡単な語句や文で書かれたままとまりのある文章の	自分の感想や考えを述べられるようにしたり、イラストや写真、図表なども参考にしたりして		
内容	内容を	必要な情報を	主な情報や大まかな内容を	内容を整理しながらままとまりのある文章の要点を		
目標とする姿	理解することができる。	読み取ることができる	とらえることができる。	とらえることができる。		

4. 活用について→単元ごとのCAN-DOリスト

福島県教育庁
義務教育課

NEW HORIZON Elementary【単元ごとのCAN-DOリスト】から

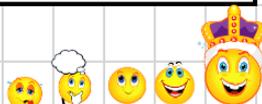
Unit 1 This is me!

GOAL

名前や好きなもの・こと、誕生日を発表することができる。

CAN-DO CHECK SHEET

月日



		月日	1	2	3	4	5
聞くこと	□ 名前や好きなもの・こと、誕生日などについてのやり取りを聞いて、内容を理解できる。	/ /					
		/ /	1	2	3	4	5
		/ /	1	2	3	4	5
読むこと	□ 名前や好きなもの・こと、誕生日などについての英文を読んで、内容を理解することができる。	/ /					
		/ /	1	2	3	4	5
		/ /	1	2	3	4	5
話すこと [やり取り]	□ 名前や好きなもの・こと、誕生日などについて、たずねたり答えたりすることができる。	/ /					
		/ /	1	2	3	4	5
		/ /	1	2	3	4	5
話すこと [発表]	□ 名前や好きなもの・こと、誕生日などについて、発表することができる。	/ /					
		/ /	1	2	3	4	5
		/ /	1	2	3	4	5
書くこと	□ 名前や好きなもの・こと、誕生日について伝える文も、例文を参考にして書くことができる。	/ /					
		/ /	1	2	3	4	5
		/ /	1	2	3	4	5

- ①教科書会社で公表している単元ごとのCAN-DOリストを参考にします。
- ②この状態だと、教科書会社のCAN-DOリストのままなので、自校版に文言をアレンジします。
- ③領域は単元によって変わります。（常に5領域というわけではありません。）学校でそれぞれに設定してください。

文言をアレンジして、自校化します。
→実際の授業場面や児童生徒の様子を思い浮かべて...

- ✓ 単元で何度も使うことができるもの。
- ✓ ふり返りや学習経過を可視化することができるもの。
- ✓ 短時間で回答（記入）することができるもの。

月日 今日できるようになったことは何かな？

/

/

4. 活用について→単元ごとのCAN-DOリスト

福島県教育庁
義務教育課

R3 NEW HORIZON English Course Book 2 【単元ごとのCAN-DOリスト】から

Unit 0 My Spring Vacation (春休みの思い出)

GOAL	思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。
------	---

CAN-DO CHECK SHEET

date



聞くこと	<input type="checkbox"/>	話し手の思い出を知るために、その人が経験したことについて話される内容の概要を捉えることができる。	/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
読むこと	<input type="checkbox"/>	書き手の思い出を知るために、その人が経験したことについて書かれた文章の概要を捉えることができる。	/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
話すこと [やり取り]	<input type="checkbox"/>	お互いの思い出を伝え合うために、経験したことや気持ちなどを整理して、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
話すこと [発表]	<input type="checkbox"/>	思い出を伝えるために、自分の経験や気持ちなどを整理して、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
書くこと	<input type="checkbox"/>	思い出を伝えるために、自分の経験や気持ちなどを整理して、簡単な語句や文を用いて書くことができる。	/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5
			/	1	2	3	4	5

- 中学校は I can ... と促していくと、たどたどしくても英語で書くようになります。
- 多少のミスはあっても、英語で書いていることを認め、励ましていきます。
- 文章量が増えたり、習ったことを積極的に使うようになったりするなどライティングに積極性が出てきます。
→発信力の強化へ

date I can...

/	
/	
/	

4. 活用について

【CAN-DO】Unit 1 This is me!

watanabe.makiko@fcs.ed.jp (共有なし) [アカウントを切り替える](#) [下書きを復元しました](#)

組
選択

出席番号
選択

名前
回答を入力

【聞くこと】名前や好きなもの・こと、誕生日などについてのやり取りを聞いて、内容を理解できる。

1 2 3 4 5

👎 ○ ○ ○ ○ 👍

【読むこと】名前や好きなもの・こと、誕生日などについての英文を読んで、内容を理解することができる。

1 2 3 4 5

👎 ○ ○ ○ ○ 👍

【話すこと [やり取り]】名前や好きなもの・こと、誕生日などについて、たずねたり答えたりすることができる。

アイディアのひとつとして...
GoogleFormの活用

5. 最後に

- ◆ 本案は、本県におけるCAN-DOリストの設定と活用が促進されるよう、プロトタイプとして作成しました。あくまで、案としております。このフォーマットを必ず使わなければならないというものではありません。どのようなフォーマットであっても、CAN-DOリスト作成の目的を理解し、学習指導要領に基づいて作成しているものであることが大切です。
- ◆ CAN-DOリストは、適宜見直して修正が必要です。PDCAサイクルの中に位置づけ、より良いものに改善し、「育てる」ものです。
- ◆ CAN-DOリストを活用した授業の展開により、指導と評価の一体化の一助になれば幸いです。
- ◆ それぞれの学校で工夫して作成、活用を推進してください。